

宗岡二中だより 12月号



令和4年12月1日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒



夢に向かって

校長 中平 仁

いよいよ今年最後の月12月を迎えました。今年の12月22日からは二十四節気の「冬至」にあたります。一年で一番昼が短く夜が長くなるころです。この「冬至」の食べ物といえば「かぼちゃ」。ではなぜ冬至にかぼちゃを食べるのでしょうか。それは、冬至には運気が上がる「ん」のつく食べ物を食べるという風習が日本にあるからです。特に「ん」が2回含まれる食べ物は運気が2倍になって縁起が良いとされていました。なんきん(かぼちゃ)・にんじん・れんこん・ぎんなん・きんかん・うどん(うどん)を「冬至の七種」と呼ぶことがあります。なかでも、かぼちゃ(なんきん)は夏野菜であるにもかかわらず、保存性に優れ長期保存がきく上に、ビタミンB1、B2、CE、食物繊維が豊富に含まれ、風邪の予防に効くといわれています。これからインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症流行拡大が心配されます。先人の知恵に学び、これらの食品を多く食べて免疫力を高めたいものです。

ところで、11月21日からFIFAワールドカップカタール2022が始まりました。日本チームの活躍が期待されます。代表選手の中でもゴールキーパーの川島 永嗣選手はさいたま市の与野西中の出身で県立浦和東高校に進学しました。その川島選手の言葉に次のようなものがあります。

自分の弱さを自ら認め不安や壁を乗り越えながら、夢を達成するために自分を信じ続ける

生徒諸君もこの言葉のように、夢に向かって自分を信じ続けてほしいと思います。

さて、まもなく冬休みに入ります。ご家庭でも親子でしっかり生活設計を立て、充実した冬休みになるようお願いいたします。特に、3年生にとっては、自分の進路に向けて全力を挙げて取り組まなくてはならない大切な時期です。一日一日を無駄なく過ごし、集中した日々を送ってもらいたいと思います。また、年末・年始にかけては交通事故にも十分注意してください。

最後になりますが、今年も残すところあとわずかとなりました。保護者、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。